

令和元年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和元年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			H30	R1	R2		
埼玉県	秩父市	ちちぶ吉田クラフト協議会	●	●	□	A	当初の計画通りの取り組みがなされていることが確認でき、適切な事業運営がなされていると評価できる。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

(注2)「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である宮林茂幸から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

宮林茂幸

【意見聴取の概要】

当初の計画通りの取り組みがなされている。

昨年度に引き続き外部専門家を講師に招いて技術習得に努めるとともに、耕作放棄地等を活用したクルミ栽培など、素材採取体制が整いつつある。また、イベント等へ積極的に出店しPR活動とともに販売を実施し、目標数値に近い金額の売り上げがあった。

地区住民を主体とした採取、栽培から商品製作に至る体制が整いつつあり、計画通りの活動が行われている。